

普及活動情勢報告（令和 5 年 7 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

みんなの生育状況を確認！ ～ J A 香美地区シシトウ部会 露地・雨よけ現地検討会～



生育状況について意見交換する生産者

6 月 21、22 日、物部・香北・土佐山田地区の生産者ほ場で、J A 香美地区シシトウ部会の露地・雨よけ現地検討会が開催され、生産者及び関係機関計 15 名が参加しました。

今年は 4、5 月に気温が低かった影響で出荷開始が遅れていることや、梅雨時期の病害対策等について、生産者同士で意見交換しました。

農業改良普及課からは、高知県が育成した非辛みシシトウについて情報提供し、生産者からは「‘高育交シシ 15 号’はこれまでの品種よりも樹勢が強く管理が難しい。もっと大人しい後継品種も作って欲しい」との意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、非辛みシシトウの栽培面積拡大に向けて支援します。

ぜったいに辛くないシシトウ！ ～ J A 香美地区シシトウ部会収穫体験～



シシトウを夢中で収穫する生徒たち

7 月 3 日、香南市野市町の生産者ほ場で、シシトウの収穫体験が行われ、小学生 15 名が参加しました。

この活動は、J A 香美地区シシトウ部会による食農教育の一環で、地元小学生を対象に、出前授業や収穫体験を通じて、地域の農業について学んでもらうために毎年実施しています。

農業改良普及課は、出前授業の講師を務め、ほ場ではシシトウの収穫方法などを教えました。

取れたての非辛味シシトウをかじる児童がいましたが、園主からは「どれを食べても辛くないき、安心して見ていられる」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、幅広い年代に安心してシシトウを食べてもらえるよう、非辛みシシトウの普及を推進します。

水管理の基礎を確認！～J A 香美地区ニラ部会グリーンカレッジ研修会～



難しくならないよう工夫して説明する普及指導員

7月14日、J A 香美地区土佐山田支所にて、ニラ部会の新規就農者組織である「グリーンカレッジ」の研修会が開催され、生産者及び関係機関6名が参加しました。

農業改良普及課からは、植物生理に基づいたかん水管理や、農業版BCP（事業継続計画）、熱中症対策等について説明しました。

生産者からは「昼間に吸水量が下がるのはなぜか」「夜間に加温し湿度が下がった後、午前中で湿度が100%まで上がることもあるのか」など質問が出され、植物生理に裏打ちされたかん水管理方法の説明により、参加者の理解が深まりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、新規就農者の栽培技術向上を支援します。

そよかぜの会で開催支援～高知県農村女性リーダーネットワーク総会～



野菜や果実を使ったアレンジメント

6月30日、香美市立図書館「かみーる」で、農村女性リーダーネットワーク総会及び研修会が開催され、県内から農村女性リーダー42人（うち、中央東地区16人）、普及職員12人が参加しました。

今年度の総会は中央東地区農村女性リーダー（通称そよかぜの会）が担当し、農業改良普及課は、総会・研修が円滑に進むように事前の準備や当日の役割分担等について支援しました。

当日は、生花の代わりに、持ち寄った野菜や果実をアレンジして会場に飾り、参加者にはとても好評でした。また、特産品の「やっこねぎ」や「ニラ」のPRもしました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、農村女性リーダーの計画活動を支援していきます。

組織間の課題を共有 ～集落営農組織等意見交換会の開催～



グループワークで出された意見をまとめる普及指導員

6月23日、南国市、香南市、香美市内の集落営農組織等を対象に、香美農林合同庁舎で意見交換会を開催し、組織代表者ら15人と3市の職員が参加しました。

農業改良普及課は、事前の関係機関への呼びかけや当日の進行を行いました。当日は3班に分かれ「組織の抱える課題とその解決策」をテーマにグループワークを実施しました。その結果、多くの組織が「人材確保」と「経営安定」に課題があることが分かりました。

参加者からは「他の組織の話が聞けてよかった」「先進事例を視察したい」といった声があがりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、集落営農組織等の経営安定と課題解決に取り組めます。

ドローン実演会の開催～露地ミカンの黒点病防除～



ドローン防除の様子

6月23日、J A香美地区果樹青年部の園地において、露地ミカンにおけるドローンによる黒点病防除の実演会を地元企業と共同で開催し、生産者と関係機関計9名が参加しました。

農業改良普及課からは、ドローンによる防除作業の省力化等について説明しました。

実演会では、実際に殺菌剤を散布し、参加者からは「思ったよりも、薬剤が樹の中まで付着しちゅうね」「ドローンの手動操縦と自動操縦の違いは？」など活発な議論がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、黒点病に対するドローン防除の効果を調査するとともに、ドローン等の省力化機器の活用を支援していきます。

南国市ピーマン研修生、研修修了！



面談の様子

6月19日、次作から経営を開始する予定の南国市のピーマン研修生2名に対し、研修状況を確認するための面談を行いました。

この面談は、研修生2名にとって就農直前の最終面談であり、農業改良普及課は、研修受入先の指導農業士2名と共に、南国市担い手育成総合支援協議会で作成したチェックシートを用いて研修状況を確認しました。

研修生と指導農業士からは「土壌消毒について研修期間中にしっかり話をしたから大丈夫！」といった声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、新規就農者の定着と新たな担い手の確保に向けて支援します。